

第18回関西広域連合委員会の概要

平成24年3月26日
関西広域連合本部

- ▶日 時：平成24年3月25日（日） 16：15～17：35
- ▶場 所：リーガロイヤルNCB 2階 淀の間
- ▶出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員（途中退席後、木村副委員）、飯泉委員、高橋企画部長（平井委員代理）
連携団体：門川京都市長、橋下大阪市長、竹山堺市長、中村神戸市副市長
福井県、三重県、奈良県は担当課長等が陪席

▶議事概要

（1）協議事項

① 政令市加入に向けた今後の予定について

- ・ 大阪市及び堺市の加入に関する議決状況と、京都市及び神戸市の新規加入に向けたスケジュール（5月中旬からの各府県・市議会で処理）を確認した。

② 北陸新幹線の全線早期整備について

- ・ 北陸新幹線（敦賀以西）のルート提案について、国提案のFGT（フリーゲージトレイン）導入は暫定措置で大阪までの全線早期整備を求めることを加えた基本方針を合意した。

③ 「関西防災・減災プラン 原子力災害対策編」の策定の進め方について

- ・ 科学的知見に基づくプランを策定するため専門部会を設置すること。また、放射性物質拡散予測シミュレーションについては、原子力安全・保安院が開発している MACCS2を基本に、他のモデルなども参考にし、専門部会で検討することを確認した。

④ 原子力発電所の安全確保に関する申し入れについて

- ・ 福島原発事故の知見を反映した安全基準に基づく適切な評価等を政府に対して求める申し入れを決定した。

⑤ 東日本大震災災害廃棄物の広域処理について

- ・ 専門家会議で了承された「関西広域連合における東日本大震災の災害廃棄物処理に関する考え方」を委員会で決定した。今後の対応については、この考え方に基づき、広域連合及び構成府県は災害廃棄物の広域処理に協力していくこと、フェニックスに対して国の個別評価を前提に取り組むことを要請すること等を決定した。

⑥ 国出先機関対策について

- ・ 第6回アクション・プラン推進委員会及び近畿市長会・近畿町村会との意見交換会の開催結果について報告し、今後、各府県でも市町村に対する説明に取り組むこととなった。

（2）報告事項

・（独）日本原子力研究開発機構及び日本原子力発電（株）との覚書について

3月中に締結できるよう調整中である。

・ 関西スタイルのエコポイント事業の本格実施について

平成24年度から、対象地域も広げ、対象商品やポイント交換商品を拡充し、本格実施する。

・ リニア中央新幹線に関する京都府の取り組み

「明日の京都の高速鉄道検討委員会」の提言が報告され、今後、リニア中央新幹線や関西アクセス改善について広域インフラ検討会で検討することを確認した。

・ 今冬の電力時給状況等について

今冬の電力時給状況等について報告があった。今夏の節電の方向性については、国や関西電力とも連携し、遅くとも5月中には提示していくこととなった。

・ その他報告

東京圏の中核機能のバックアップに関する検討会の「二次とりまとめ(案)」(国土交通省)の概要、平成24年度の関西広域連合の主要日程が報告された。